

はつかいちまちづくり情報交換会 2026.7.15

参加者同士で語り合いながら、これからの活動のヒントを学びました

7/15 に地域自治組織や、まちづくり活動に関わる方 61 名と関係者等が集まり、日頃の地域での活動を振り返り、より良くしていくためのヒントを楽しく実践を交えながら学びました。

第 1 部:講演「新しいコト・ヒトとの関わりが生まれるとき」

西川正さん（NPO 法人ハンスオン埼玉副代表理事・岡山県真庭市立中央図書館長）を講師に迎え、地域活動において、世代を超えた人がつながり、新しいコトが生まれるときはどんなときか、ヒントを伺いました。「おしゃべり（応える）」することが安心の保障につながり、その安心が、新しい企画のアイデアや前向きな取組につながります。こうした「おしゃべり（応える）」のポイント（人の話を評価しないで、ただ聞くことなど）を実践も交えて学びました。

人が集まる楽しそうな場にするための真庭市立中央図書館の具体的な取り組みも紹介してもらい、西川さんの軽快な進行に、会場が笑顔でいっぱいになりました。



〈新しいこと・ヒトとの関わりが生まれるヒント〉

- 正しそう より 楽しそう
 - 安心の保障
 - ・ 答え より 応え(おしゃべり)
- 応え(てもらえると)
→ 安心(できて)
→ やってみよう!

参加者の印象に残ったこと

- 正しそうな場でなく楽しそうな場をつくる!
- 活動を広げるポイントは口コミで、自分も楽しいと思えること
- 人の話を黙って聞くことはとても難しい
- まずは平等であること、人を受容すること、受容していただくことの大切さ
- 図書館のイメージを正しいものから楽しいものに変える工夫がとても面白かった
- サイコロトークで、話しやすく楽しかった
- 顔をつき合わせて話すことの大切さを痛感しました
- 話せば考えていることはあまり変わらない

第 2 部:みんなで語ろう!トークタイム

第 1 部で学んだおしゃべりのポイントを実践し、自分の活動について 5 名グループで語り合いました。

サイコロで出たお題について話す方だけでなく、聞いている方も感想を伝え合い、トークが弾みました。

普段の活動のモヤモヤも、安心して話せる環境（ここだけの話という約束・アドバイスしない・拍手など）をみんなで作ることで話しやすい雰囲気になり、おしゃべりが大いに盛り上がりました。



安心して話せる場をつくりたいと思ったら

地域活動に関する話し合いの場づくり等を支援します。

悩み・困り事を解決したい、もっと色々な人と関わりたいけど、話し合いの場の作り方が分からない、もっと良い話し合いをするためにはどうしたら…などなど。

今悩んでいることをお気軽にご相談ください。

【お問合せ】

廿日市市地域振興課

電話 0829-30-9137

メール

chiikishinko@city.hatsukaichi.lg.jp